

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(1)～(7)は段落番号を示す)

問題文については、著作権の関係で掲載いたしません。

問一、文中の傍線 ①～⑤について、カタカナを漢字に、漢字を平がなに改めよ。

問二、文中の I IV に入る最も適切な言葉を、次のア～オの中からそれぞれ選び記号で答えよ。

ア もちろん イ すなわち ウ ところで エ たとえば オ ところが

問三、筆者が考える「博覧会の性格」を本文中から十字以内で抜き出せ。

問四、前近代社会において、商品を買うということはどのようなことだったか。本文中より二十五字以内で抜き出せ。

問五、文中の傍線 1は何を指すか。

問六、筆者によれば、フランソワ・ド・ヌシャトーは何のために芸術作品の代わりに実用工芸品を展示する第一回国博覧会を企画したのか。文中の語句を用いて説明せよ。

問七、第一回国博覧会の観客は、商品や商店に対して従来とどのように異なる接し方を知ったか。従来がどのようなであったかを含めて、文中の語句を用いて説明せよ。

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(1)～(10)は段落番号を示す)

問題文及びグラフについては、著作権の関係で掲載いたしません。

問一、文中の傍線 ①～⑤について、カタカナを漢字に、漢字を平がなに改めよ。

問二、文中の A・B に入る数を(注)「グラフ」より答えよ。

問三、次の文はどの段落の後ろにあるか。その段落番号を答えよ。

「悪いことをすると閻魔様に地獄に落とされる」といった宗教的な道徳観が再評価されたわけではなさそうだ。

問四、文中の傍線 A を文中より抜き出し答えよ。

問五、文中の I ～ III に入る最も適切な言葉を、次のア～オの中からそれぞれ選び記で答えよ。

ア さらに イ なぜなら ウ つまり エ その反面 オ ただ

問六、文中の傍線 1 の傾向になるに至った原因を、文中の語を用い十五字以内で答えよ。

問七、文中の傍線 2 の回答となるに至った原因は何か。当時がどのような社会だったからか。本文から十字以内で抜き出し答えよ。

問八、文中の C に当てはまる言葉を三文字で答えよ。

問九、次の文は本文をまとめたものである。空欄 1 ～ 3 に当てはまる熟語を本文の中から探し答えよ。

「バチがあたる」とは、本来は神仏が人の悪行に対して懲らしめるために、罰したものであり 1 に対する報いであった。現在はその宗教性が失われ、バチを信じる人の心には、社会的経済的 2 への不満や他人への 3 を求めるといふ現代の人々に特有の意識があるのかもしれない。